

鳴海周平の

ぶらり旅

インド編

この木、なんの木、トトロの木
この木は現地で「トトロの木」とも
呼ばれているベンガル菩提樹。お釈迦
さま所縁ゆかりの場所でもあります。
今冬のぶらり旅は、お釈迦さま
が悟りを開いたとされるブツダ。
ガヤーへ行ったがやあ……笑った
人だけ、悟った人認定ってことで
次ページへお進みください。

「トトロの木」とも呼ばれる大きな菩提樹。
地元セーナ村ではゴータマ・シッタタ(のちのブツダ)がスジャータからミルク粥を施された場所とも云われているようです。



世界遺産タージ・マハル。22年という歳月をかけてつくられた完璧なシンメトリーは、ただただ圧巻の迫力。



タージ・マハルの建物内は土足厳禁のため、旅友の皆さんとこの足袋(たび友だけに)。このたびも楽しい時間を一緒にいただきありがとうございました。

お釈迦さまが修行に入られてから悟りを開くまでの行程を辿った今回の旅。
 所縁ゆかりの地で感じたことは「新しい時代」と「縁えんと「空くうというキーワードでした。
 これまた誌面スペースの関係で詳細は書けませんので(笑)ご興味のある方はお話会へ遊びに来てね。
 珍道中をご一緒いただきました亮さん、虹映さん、タッキー、まゆみんに、あらためて感謝申し上げます。このたびもありがとうございます。ございました。



左からスジャータ・ストゥーパ、竹林精舎、靈鷲山。出家したブッダが修行に入り、晩年も滞在し説法をしていた所縁の地です。

旅友五人衆でのインド旅。
 正観塾師範代でダジャレの達人・高島亮さん、「はづき数秘術」創始者で作家のはづき虹映さん、これまでに数えきれないほどの旅を一緒にしているタッキーこと滝沢泰平さんと奥さまのまゆみん。
 間違いない珍道中になることが予想できるメンバーで、予想どおりの珍道中となりましたことを謹んでご報告申し上げます。



インドの母なる大河ガンジス川で毎日おこなわれている礼拝(プージャー)。歴史や文化、宗教観や死生観などいろいろなエネルギーが体感できます。

インド国内線フライトが突然キャンセルになったり、乗っている車が逆走したり、でも反対から来る車も逆走してるから、なんとなくいい感じになったり、すぐ目の前にトイレがあるのに、その手前で数メートルおきに用を足している人たちが並んでいたり…。
 六車線の道路が急に二車線になるので、ただでさえカオスなのに、そこへリクシャー(インド版人力車)や馬車、牛やヤギまで加わって、もう、とんでもなく面白い！
 そんなわけで、観光地でのことまで書くスペースがないので(笑)写真でなんとなくイメージしてくださいませ。



竹林精舎にて、左からヨガマスター、アカレンジャー、ほっけ、ほっけ、なるみん、……藤井風さん？



街のいたるところにチャイ屋さん(どこも美味しい!)。たくさんの方が行き交うバザールではインド料理に欠かせない香辛料のお店もあって、とにかく賑やか!